■江藤淳　　文芸評論家。若くして戦後を代表する地位，保守派の論客の中心となるも，病没した妻の後を追って自殺。
えとうじゅん
五一五事件・1932＝　　東京府豊多摩郡大久保町字百人町で，銀行員江頭隆・廣子の長男に生まれる。本名は江頭淳夫。

父方祖父が海軍中将江頭安太郎，母方祖父も海軍少将という特権的中産階級で，母に溺愛され，女中に面倒を見られてながら育ち，

日中戦争始・1937＝ 5歳：母が結核で死去して衝撃を受ける。

第二次大戦始1939＝ 7歳：戸山小学校に入学するも，父が再婚するが，継母になじめず，不登校になり，納戸に引篭もる。

日米開戦・・1941＝ 9歳：結核感染が判明し，鎌倉の継母の父英文学教授の家で転地療養，溺愛され，
・・・・・・1942＝10歳：鎌倉第一国民学校に転校してからは学校が好きになり，成績が上昇。
この間，夏目漱石への共感が始まる。

敗戦・・・・1945＝13歳：東京大空襲で，大久保の生家は焼失し，亡母の遺品がなくなったことに，再び衝撃を受ける。
新憲法公布・1946＝14歳：神奈川県立湘南中学校に入学。1年上の石原慎太郎とは，生涯親交することになる。

極東裁判決・1948＝16歳：一家貧窮し，北区十条の場末のバラックに転居，東京都立第一中学校に転校，没落体験となる。家長的存在だった祖母が死去。この間，**_古書店で伊東静雄の詩集「反響」に出会って，文学を志向するようになり，**
朝鮮戦争始・1950＝18歳：
独立回復・・1951＝19歳：結核が再発，休学し自宅療養になると，異母弟を狂ったようにいじめるが，継母がカリエスになり，父も病に倒れると，**_石原慎太郎らと研究会を持ち，マルクス主義に傾斜して激論するも納得できず，文学耽溺，**
ﾒｰﾃﾞｰ事件・ 1952＝20歳：高校生徒会誌に小説を発表。
TV放送始・・1953＝21歳：東京大学文科二類を受験して失敗，**_慶応義塾大学文学部に入学，以後度々，福沢諭吉について論じる。**
自衛隊発足・1954＝22歳：吉田健一「英国の文学」の影響で，英文科を専攻。喀血しして自宅で療養。
55年体制始・1955＝23歳：_{三田文学}編集長山川方夫から頼まれ，初めて江藤淳を名乗って「夏目漱石論」を発表，
国連加盟・・1956＝24歳：**＊漱石神話を破壊して，処女作「夏目漱石」となり，評論家の第一歩をふみ出す。**
なべ底不況・1957＝25歳：卒業し，大学院文学研究科修士課程に進む。大学同級生の三浦慶子と結婚。
ｲﾝｽﾀﾝﾄﾗｰﾒﾝ・1958＝26歳：**_大学院生でありながら文芸誌に評論を執筆し原稿料を稼いでいたことが教授会から問題視され，退学を勧告されるも，抵抗の意味で，授業料のみ納入して不登校を続けながら，「奴隷の思想を排す」刊行して，多方面の文学者に大きな影響を与え，石原慎太郎・大江健三郎らと{若い日本の会}を結成，**
美智子妃・・1959＝27歳：**_福沢をモチーフとする主著「作家は行動する」を刊行すると，正式に大学院を中退。**
安保闘争・・1960＝28歳：**_警職法改正反対を声明，**
全国総合計画1962＝30歳：**_ロックフェラー財団研究員としてプリンストン大学に赴任，前年刊行の「小林秀雄」が新潮社文学賞で，**
TV宇宙中継始1963＝31歳：プリンストン大学東洋学科で日本文学史を教え，初めて満足感を得る。留学中，三島由紀夫から，自作長編「美しい星」の英訳本刊行への助力を求められるなど，**＊作家としての地位を確立するが，**
東京ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ 1964＝32歳：「国家・個人・言葉」を書いた後，**_帰国すると，愛国者にして天皇崇拝者の相貌を帯び始め，**
大学紛争始・1965＝33歳：「アメリカと私」，
いざなぎ景気1966＝34歳：「戦後と私」。遠山一行らと{季刊藝術}を創刊し主宰。
美濃部都知事1967＝35歳：**_大江健三郎と，最後の対談し，完全に決裂。代表作「成熟と喪失」刊行。**
霞ヶ関ﾋﾞﾙ・ 1968＝36歳：
全共闘ﾋﾟｰｸ・1969＝37歳：以後約9年間，{毎日新聞}の文芸時評を担当。
大阪万博・・1970＝38歳：「″ごっこ″の世界が終わった時」で，三島由紀夫の楯の会自決を″軍隊ごっこ″と斬り捨て，崇拝されていく三島像に対して明確に否定。**_「漱石とその時代」で菊池寛賞・野間文芸賞。**
ﾄﾞﾙｼｮｯｸ・・ 1971＝39歳：東京工業大学助教授となる。「国家目標と国民目標」。
石油ショック1973＝41歳：教授に昇格。「一族再会」第1部，
角栄金脈辞任1974＝42歳：**_「″フォニイ″考」で，加賀乙彦，辻邦生らの長編を，純文学ならざるものとして批判し，論争，**
ｸｱﾗﾝﾌﾟｰﾙ事件1975＝43歳：**_慶應義塾大学から文学博士号を得るが，博士論文「漱石とアーサー王伝説」は，大岡昇平から批判を受け，論争になる。「海は甦える」で文芸春秋読者賞。明治への回帰を志向，戦後評価論争の中心人物となり，**
田中角栄逮捕1976＝44歳：**_日本芸術院賞。NHKドキュメンタリー・ドラマ「明治の群像」のシナリオを手掛け，**
JALﾊｲｼﾞｬｯｸ・1977＝45歳：**＊{文學界}の開高健との対談「作家の狼疾」で，埴谷を激怒させるなど，この前後，各方面から批判を浴び，**
成田衝突・・1978＝46歳：**_「戦後の文学は破産の危機」(毎日新聞)に端を発し，本多秋五らとの間で「無条件降伏論争」はじまる。**
革新大敗北・1979＝47歳：**_ワシントンの研究所に赴任，米軍占領下の検閲事情を調査，日本人が洗脳されてきたことを問題に，**
貿易摩擦問題1980＝48歳：**_「1946年憲法～その拘束」発表。文壇内で批判された田中康夫の「なんとなく，クリスタル」を高く評価，**
以降は，再び鎌倉市の西御門に居住し，鎌倉文士の一人となる。
中曽根内閣・1982＝50歳：**_{海}での吉本隆明と対談についての編集長の後記に激怒，社長嶋中鵬二宛に抗議の手紙。**
ﾃﾞｨｽﾞﾆｰﾗﾝﾄﾞ 1983＝51歳：**_「ユダの季節」で，保守派の論客の党派性を批判し，保守論壇からも孤立するに至る。**
・・・・・・1984＝52歳：「自由と禁忌」，
ｼﾞｬﾝﾎﾞ機墜落1985＝53歳：「近代以前」，
バブル始・・1986＝54歳：
この間，**_社会との軋轢，父との確執などで，妻に家庭内暴力振るい続ける一方，**
昭和天皇没・1989＝57歳：「昭和の文人」「閉ざされた言語空間」。
ﾄﾞｲﾂ統一・・1990＝58歳：東工大を辞職。**_母校の慶應義塾大学法学部客員教授となり，後に招聘された時の喜びを素直に語り，**
ソ連崩壊・・1991＝59歳：_日本芸術院会員。
バブル崩壊・1992＝60歳：慶應義塾大学環境情報学部教授。
55年体制終・1993＝61歳：
自社さ連立・1994＝62歳：「閉された言語空間―占領軍の検閲と戦後日本」。**_日本文藝家協会理事長。**
ｵｳﾑ(ｻﾘﾝ)事件1995＝63歳：「一九四六年憲法-その拘束―その他」。
・・・・・・1996＝64歳：**_「荷風散策」で永井荷風，**
金融破綻・・1997＝65歳：**_定年まで1年を残し慶應義塾を去り，大正大学教授に就く。{正論}大賞。**
・・・・・・1998＝66歳：**＊「南洲残影」西郷隆盛という理想とする治者とは正反対の人生を送った人物を論じて，意外の感を与え，妻が病没すると，気力を失い，自身も脳梗塞の後遺症に悩んでいたこともあって，**
石原都知事・1999＝67歳：**_妻の葬儀後，自宅浴室で剃刀を用い，手首を切って，自殺。妻の闘病生活を綴った「妻と私」を遺したが，「幼年時代」とライフワークの「漱石とその時代」は未完に終わる。**

インターネットWikipedia，